

2007年5月7日

京セラ株式会社 決算説明会

代表取締役社長
川村 誠

京セラ株式会社

将来予想に関する注意事項

この配布資料に記載されている記述には、1934年米国証券取引所施行21E条に定義される「将来予想に関する記述」(forward-looking statements)が含まれています。これらの将来予想に関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて当社が予想を行い、所信を表明したものであります。これらの将来予想に関する記述は、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。かかるリスク、不確実な要因及びその他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 当社が関連する市場の状況(特に、日本、米国、欧州及びアジア(中国を含む)の経済状況)。
- (2) 中国における経済・政治・法律面での条件の予測し得ない変化。
- (3) 競争の厳しいセラミック、半導体部品及び電子部品市場における当社の、革新的な製品を開発・生産し、品質・納期を含めて、顧客の要求に沿った先進技術を投入する能力。
- (4) 生産高や業績に影響を与える社外委託工程や自社内製造過程で生じる遅れや不具合の発生。
- (5) 円高、政治的・経済的な不安定状態、輸出売掛金の回収の困難性、製品の価格競争力の低下、輸送経費の増大、海外事業所管理の問題、知的財産権の保護の不十分性等輸出に影響する可能性がある要素。
- (6) 当社の売上高の相当な部分を構成している通貨(特に米ドル及びユーロ)と円との為替レート。
- (7) 技術力を有する科学・技術その他の分野の人材の不足。
- (8) 当社の機密保持及び特許等の知的財産権の保護の確保。
- (9) 当社製品を継続的に製造・販売する為に必要となるライセンスの安定的確保。
- (10) 日本及び諸外国における税制並びに生産体制及び貿易に関する法規制等。
- (11) テロ行為、疾病の発生、その他当社の市場やサプライチェーンに混乱を与える可能性のある要素。
- (12) 当社の製造施設その他主要な事業関連施設がある地域における地震などの自然災害の発生。
- (13) 保有する有価証券その他の資産の時価の変動、減損処理の発生及び会計基準の変更。

かかるリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開または財務状況は、これらの将来予想に関する記述に明示または包含される将来の業績、事業活動、展開または財務状況と大きく異なる場合があります。当社は、この配布資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

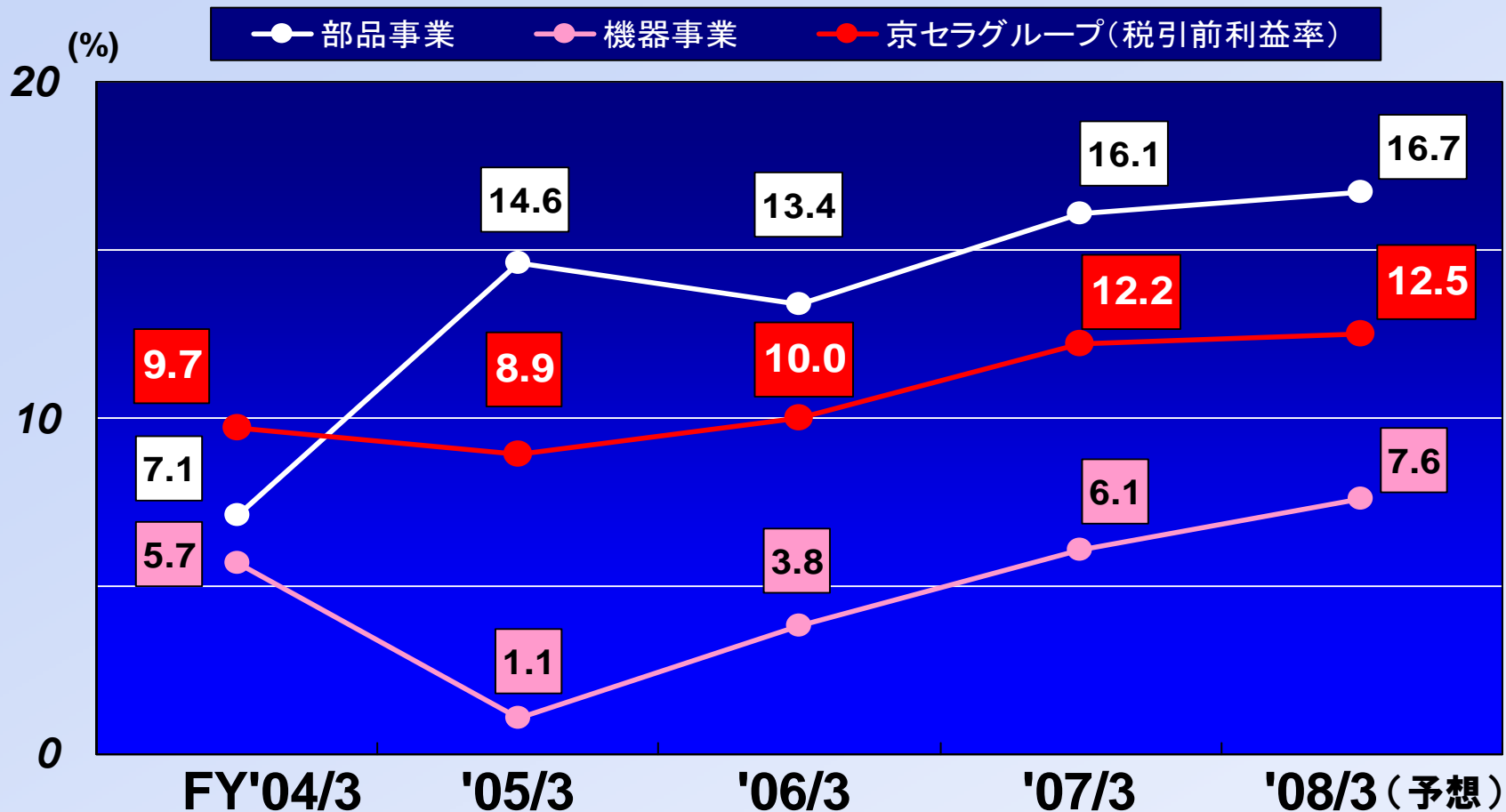
2008年3月期 連結業績予想（1）

（単位：百万円）

	2007年3月期		2008年3月期 予想		前期比 増減率(%)
	金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	
売上高	1,283,897	—	1,330,000	—	3.6
営業利益	135,102	10.5	151,000	11.4	11.8
税引前当期純利益	156,540	12.2	166,000	12.5	6.0
当期純利益	106,504	8.3	103,000	7.7	-3.3
希薄化後1株当たり 当期純利益（円）	564.79	—	546.21	—	-3.3
設備投資額	69,896	5.4	86,000	6.5	23.0
減価償却費	70,155	5.5	79,000	5.9	12.6
研究開発費	61,100	4.8	67,000	5.0	9.7
平均為替レート	対ドル：117円 対ユーロ：150円		対ドル：110円 対ユーロ：150円		
為替の変動による影響額 (前期比)	売上高	396億円		-340億円	
	税引前 当期純利益	157億円		-70億円	

事業利益率の推移

—2004年3月期～2008年3月期(予想)—



3期連続増益 / 京セラグループ税引前利益率12.5%

注)2008年3月期より、これまで独立した事業セグメントとして表示していた「光学機器関連事業」を「その他の事業」に含めて開示することとしました。

2008年3月期 連結業績予想（2）

（単位：百万円）

	2007年3月期		2008年3月期 予想		前期比 増減率(%)
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	
売上高	1,283,897	—	1,330,000	—	3.6
営業利益	135,102	10.5	151,000	11.4	11.8
税引前当期純利益	156,540	12.2	166,000	12.5	6.0
当期純利益	106,504	8.3	103,000	7.7	-3.3
希薄化後1株当たり当期純利益（円）	564.79	—	546.21	—	-3.3
設備投資額	69,896	5.4	86,000	6.5	23.0
減価償却費	70,155	5.5	79,000	5.9	12.6
研究開発費	61,100	4.8	67,000	5.0	9.7

		2007年3月期		2008年3月期予想	
平均為替レート		対ドル：117円	対ユーロ：150円	対ドル：110円	対ユーロ：150円
為替の変動 による影響額 (前期比)	売上高	396億円		-340億円	
	税引前 当期純利益	157億円		-70億円	

2008年3月期 事業環境見通し

(当社予想)

世界の主要電子機器の生産台数見通し

	CY2006 (百万台)	CY2007見通し (CY06比増減率)	需要拡大の背景
携帯電話端末	980	+10%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧米での高機能端末への買替え需要拡大 ・ 新興市場での需要増加
パーソナルコンピュータ	230	+10%	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノートパソコン、新OSの需要増加 ・ 新興市場での需要増加
デジタルテレビ	60	+50~60%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薄型大型テレビの需要増加

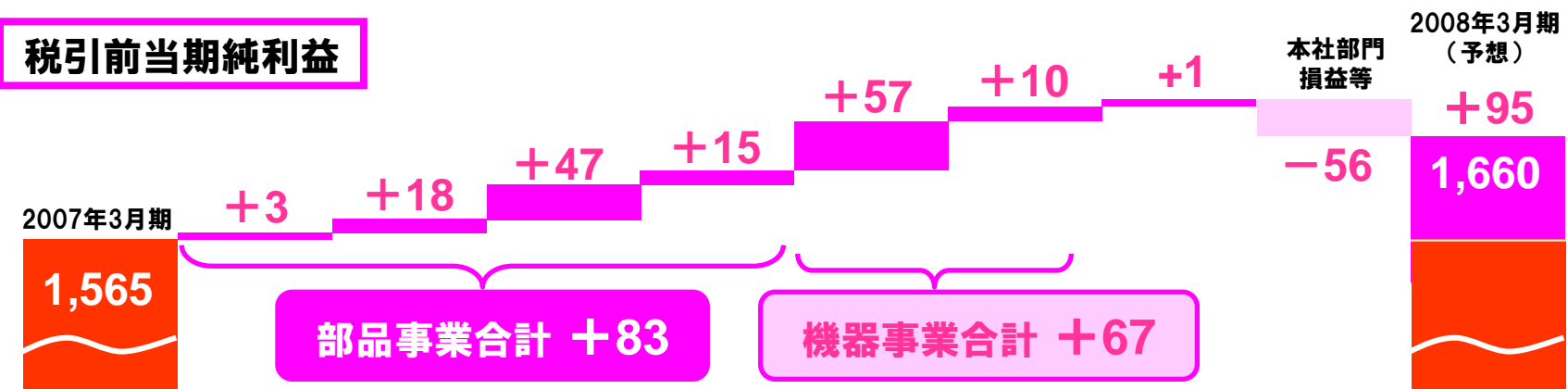
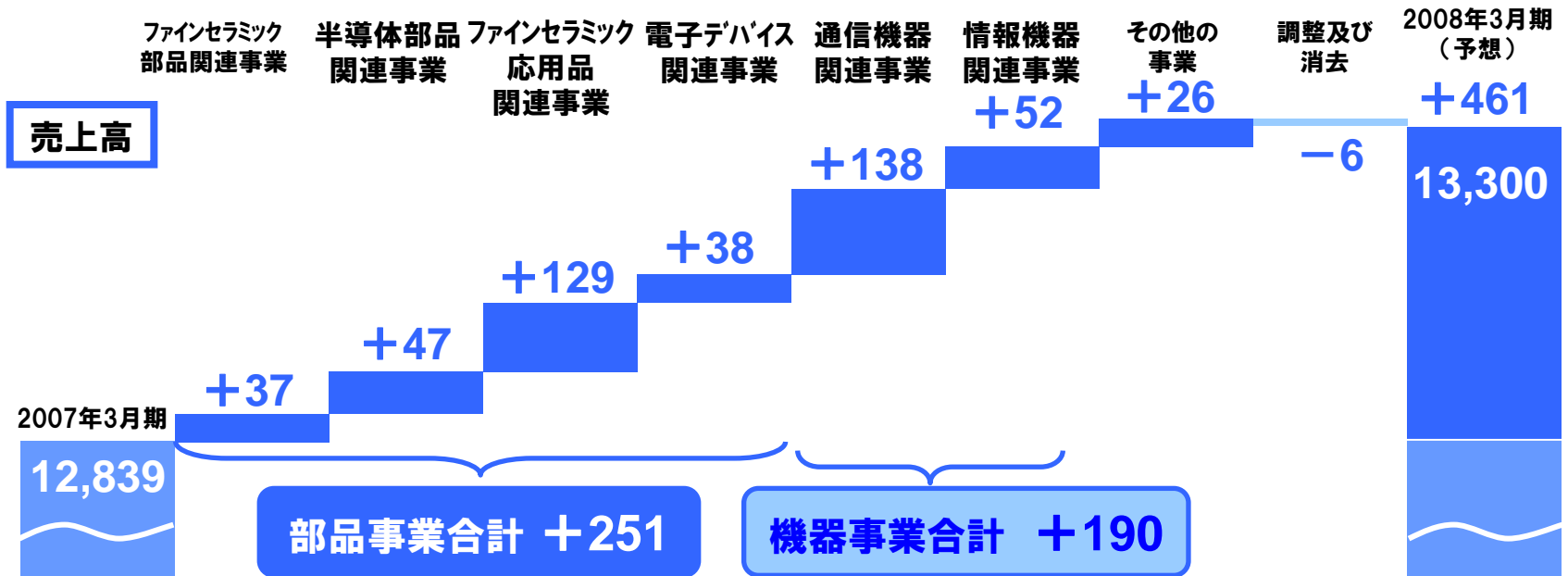
部品単価の動向

(例:セラミックコンデンサ) 年間で前期末比10%前後の下落にとどまる

2008年3月期 事業セグメント別売上高・税引前当期純利益予想

— 前期比増減額 —

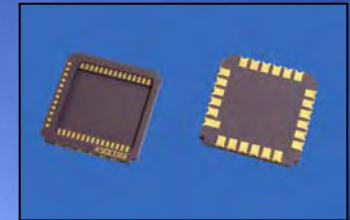
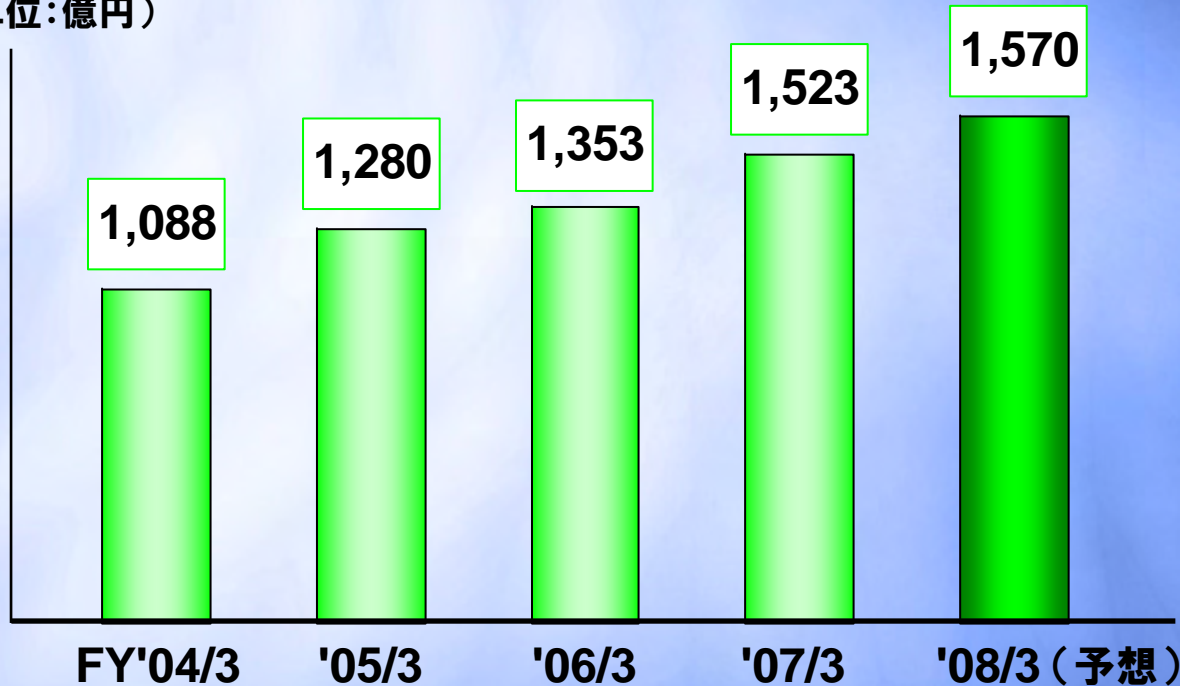
(単位:億円)



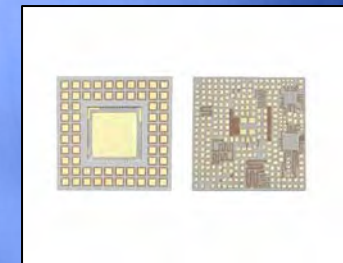
2008年3月期 半導体部品関連事業の取組み

売上高推移

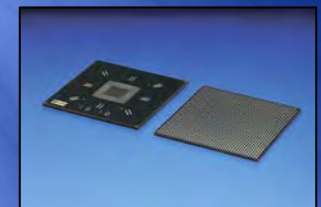
(単位:億円)



イメージセンサー用パッケージ



LTCC基板

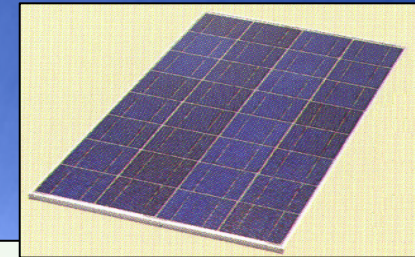
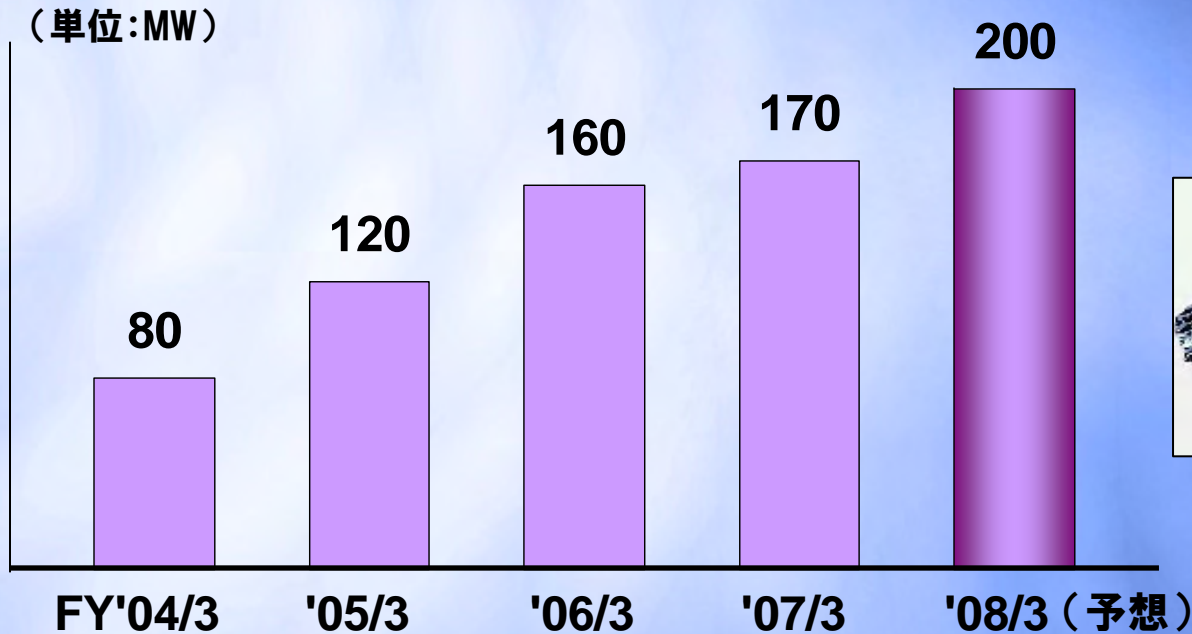


フリップチップパッケージ

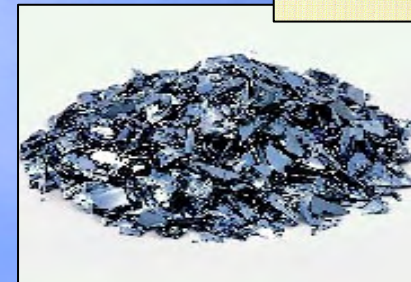
1. セラミックパッケージのシェアアップ
2. ゲーム機用有機パッケージの量産開始(綾部工場)

2008年3月期 ソーラーエネルギー事業の取組み

ソーラーセル生産量の推移



モジュール



シリコン



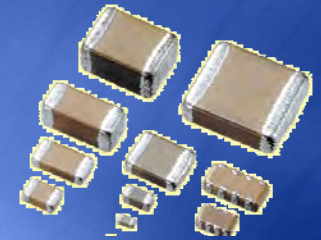
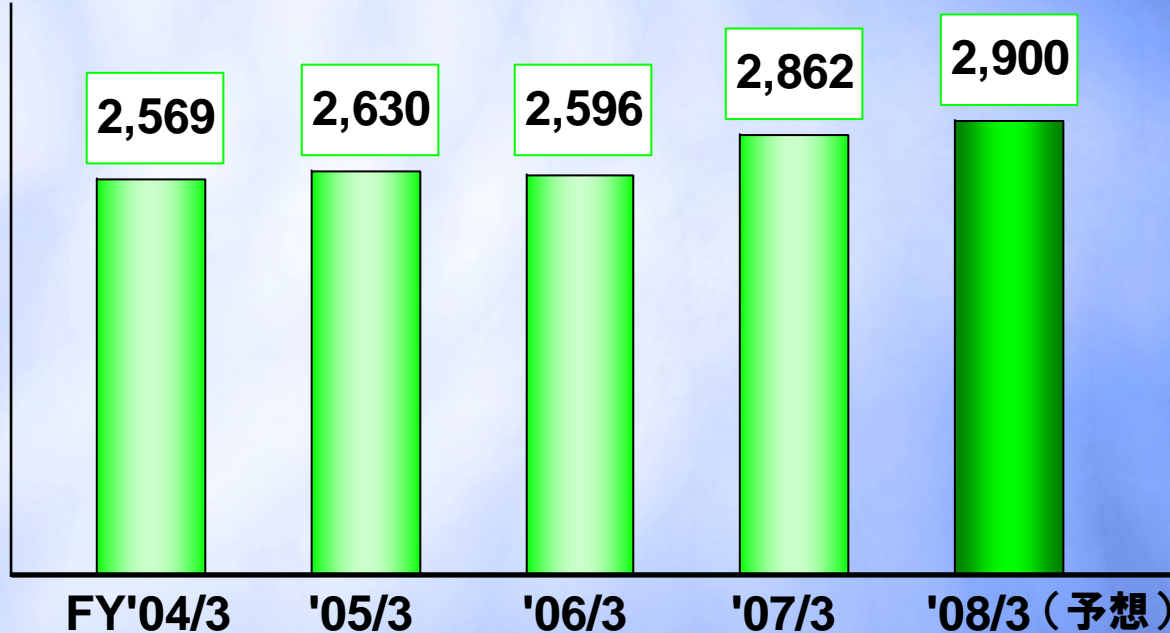
駐車場設置例

1. 原材料を確保し、下期より生産量増加
2. セルの薄型化などのコストダウン

2008年3月期 電子デバイス関連事業の取組み

売上高推移

(単位:億円)



セラミックコンデンサ



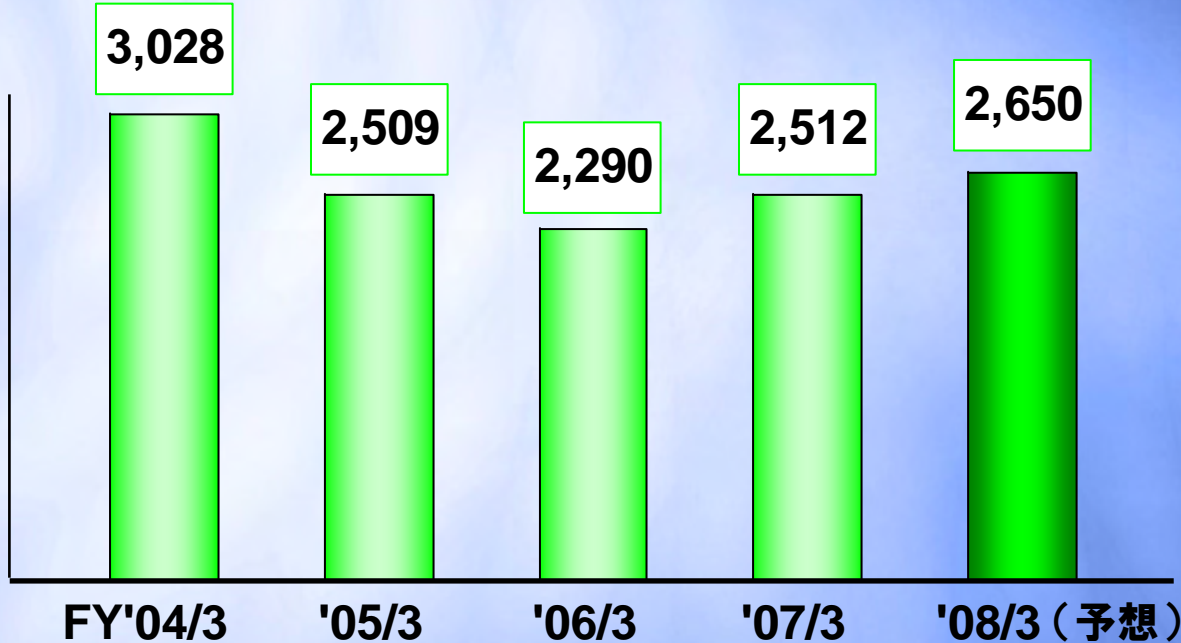
水晶デバイス

1. デジタルコンシューマ機器向け高付加価値製品の拡販
(小型大容量コンデンサ、民生用水晶デバイス)
2. グループシナジーを活かした新製品の市場投入
(低インダクタンスコンデンサ)

2008年3月期 通信機器関連事業の取組み

売上高推移

(単位:億円)



W44K

WX320K

1. 新モデル拡販による携帯電話端末のシェアアップ
2. ラインアップ拡充による国内PHS端末のシェアアップ
3. 製造力(現場力)強化 —生産性向上、コストダウン、リードタイム短縮—

「新たな創造」によりさらなる成長を目指す

さらなる成長

持続的な売上拡大と
高い収益率を実現

EPS向上

新たな創造

戦略事業に対する“攻め”の
経営を推進

アメーバ経営への原点回帰

持続的業績拡大を目指して

1. ソーラーセル・モジュールの生産拡大

- ・ 2011年3月期に500MW/年生産体制の確立

2. セラミックコンデンサの生産能力増強とシェアアップ

- ・ 2008年3月期末に新建屋稼動開始予定

3. 半導体部品関連事業の新市場開拓

- ・ 高周波対応セラミックパッケージ
- ・ ゲーム機、携帯電話端末用有機パッケージ

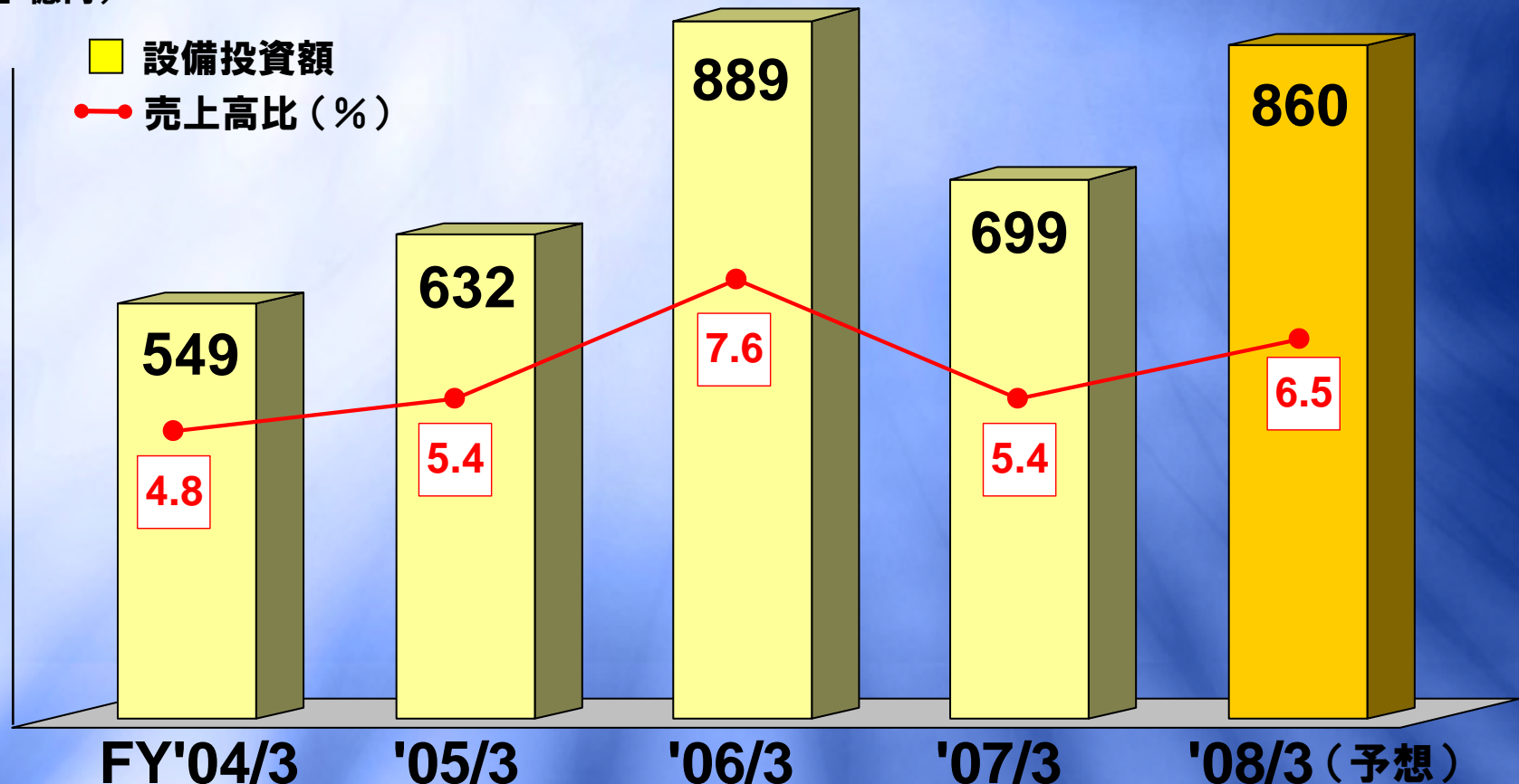
4. 情報機器関連事業の事業拡大

- ・ エコシスコンセプトを活かしたカラー、モノクロ機の拡販

設備投資額の推移

重点事業への積極的な設備投資により事業拡大を図る

(単位:億円)



参 考 情 報

2008年3月期 事業セグメント別連結売上高予想

(単位:百万円)

事業セグメント	2007年3月期 実績		2008年3月期 予想		前期比 増減率(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
ファインセラミック部品関連事業	81,326	6.3	85,000	6.4	4.5
半導体部品関連事業	152,292	11.9	157,000	11.8	3.1
ファインセラミック応用品関連事業	131,103	10.2	144,000	10.8	9.8
電子デバイス関連事業	286,156	22.3	290,000	21.8	1.3
部品事業計	650,877	50.7	676,000	50.8	3.9
通信機器関連事業	251,183	19.6	265,000	19.9	5.5
情報機器関連事業	268,781	20.9	274,000	20.6	1.9
光学機器関連事業	11,704	0.9	—	—	—
機器事業計	531,668	41.4	539,000	40.5	—
その他の事業	125,656	9.8	140,000	10.5	—
調整及び消去	-24,304	-1.9	-25,000	-1.8	—
売上高計	1,283,897	100.0	1,330,000	100.0	3.6

注)2008年3月期より、これまで独立した事業セグメントとして表示していた「光学機器関連事業」を「その他の事業」に含めて開示することとしました。

2008年3月期 事業セグメント別連結事業利益予想

(単位:百万円)

事業セグメント	2007年3月期 実績		2008年3月期 予想		前期比 増減率(%)
	金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	
ファインセラミック部品関連事業	15,677	19.3	16,000	18.8	2.1
半導体部品関連事業	22,210	14.6	24,000	15.3	8.1
ファインセラミック応用品関連事業	22,334	17.0	27,000	18.8	20.9
電子デバイス関連事業	44,487	15.5	46,000	15.9	3.4
部品事業計	104,708	16.1	113,000	16.7	7.9
通信機器関連事業	291	0.1	6,000	2.3	—
情報機器関連事業	33,970	12.6	35,000	12.8	3.0
光学機器関連事業	-1,895	—	—	—	—
機器事業計	32,366	6.1	41,000	7.6	—
その他の事業	8,776	7.0	7,000	5.0	—
事業利益計	145,850	11.4	161,000	12.1	10.4
本社部門損益等	10,690	—	5,000	—	-53.2
売上高計	156,540	12.2	166,000	12.5	6.0

注)2008年3月期より、これまで独立した事業セグメントとして表示していた「光学機器関連事業」を「その他の事業」に含めて開示することとしました。

当該資料に関する注意事項

2007年3月期に、ファイナンス事業を行う当社子会社であった京セラリーシング（株）を売却したことにより、京セラリーシング（株）に関わる営業成績及び売却益の合計額を、米国会計基準に従い、非継続事業の損益としています。この売却に伴い、既公表実績値についても同様の基準で一部組み替えて表示しています。

THE NEW VALUE FRONTIER



京セラ株式会社